

慣用句 1	相づちを打つ	慣用句 5	手塩にかける
	揚げ足をとる		途方に暮れる
	あごを出す		長い目で見ると
	足が出る		涙をのむ
	頭が上がらない		二の句がつけない
	後の祭り		根も葉もない
	油を売る		のどから手が出る
	息をのむ		歯が立たない
慣用句 2	馬が合う	慣用句 6	鼻が高い
	上の空		鼻にかける
	顔が広い		腹が黒い
	かたずをのむ		骨が折れる
	肩身がせまい		眉をひそめる
	かぶとをぬぐ		水に流す
	気が気でない		水の泡になる
	肝をつぶす		耳が痛い
慣用句 3	釘をさす	慣用句 7	耳が早い
	口が軽い		耳にたこができる
	口がすっぱくなる		虫がいい
	口車に乗る		目が肥える
	くちばしを入れる		目に余る
	口火を切る		目を三角にする
	首を長くする		やぶから棒
	くもの子を散らす		指をくわえる
慣用句 4	心をくだく		
	さじを投げる		
	舌つづみを打つ		
	舌を巻く		
	しのぎをけずる		
	図に乗る		
	立て板に水		
	棚に上げる		

	慣用句	意味
慣用句 1	相づちを打つ	人の話を聞きながら、同意・同感のしるしにうなづく。人の話に調子を合わせる。
	揚げ足をとる	人の言葉じりや言い誤りをとらえて、なじったり皮肉を言ったりする。
	あごを出す	非常につかれる。くたびれる。
	足が出る	出費が予定より多くかかる。赤字になる。
	頭が上がらない	他人にひけめがあったり、勢いにおされたりして、対等になれない。
	後の祭り	タイミングをのがすこと。手おくれ。
	油を売る	むだ話などをして時間をつぶす。なまける。
	息をのむ	はっと、おどろくこと。
慣用句 2	馬が合う	気が合う。
	上の空	他のことに心がうばわれて、そのことに注意が向かない状態。
	顔が広い	つきあいが広い。よく知られている。
	かたずをのむ	ことのなりゆきを案じて、息をこらす。
	肩身がせまい	他人や世間に対して面目がたたない。
	かぶとをぬぐ	降参する。
	気が気でない	ひどく気がかりで、心が落ち着かない状態。
	肝をつぶす	おどろくこと。
慣用句 3	釘をさす	約束をやぶらないように相手に念をおしておく。
	口が軽い	おしゃべりで、秘密などもすぐもらすこと。
	口がすっぱくなる	同じことを、いやになるほど何度も何度も言う。
	口車に乗る	相手の口先にだまされる。
	くちばしを入れる	人の話に口出しをする。
	口火を切る	いちばん先に物事を始める。
	首を長くする	今か今かと待ちこがれる。
	くもの子を散らす	集まった人などが、ちりぢりににげるようす。
慣用句 4	心をくだく	目的を達するため、いろいろと心を使い苦労を重ねる。
	さじを投げる	医者が見放す。見こみがないとあきらめる。
	舌つづみを打つ	飲食物があまりにおいしくて、思わず舌を鳴らす。
	舌を巻く	ひどくおどろく。ひどく感心する。
	しのぎをけずる	はげしく争う。
	凶に乗る	思うとおりになって、調子づく。つけあがる。
	立て板に水	すらすら話すことのたとえ。
	棚に上げる	わざと知らぬ顔をして問題にしない。
慣用句 5	手塩にかける	自分でいろいろめんどろを見て育てること。
	途方に暮れる	どうしていいかわからなくなって困ること。
	長い目で見る	現状のみで判断しないで、気長に将来を見守る。
	涙をのむ	くやしい思いをする。くやしさをがまんする。
	二の句がつけない	あきれはてて次の言葉が出ない。
	根も葉もない	なんの根拠もない。
	のどから手が出る	欲しくてたまらないたとえ。
	歯が立たない	①相手が強くて、とてもかなわない。②難しくて処理できない。
慣用句 6	鼻が高い	得意げ、自慢げなさま。
	鼻にかける	自慢する態度をとること。
	腹が黒い	心の中がきたない。根性が悪い。
	骨が折れる	苦労する。めんどろである。
	眉をひそめる	心配ごとや不快なことに対して、顔をしかめる。
	水に流す	過去のいざこざをなかつたことにする。
	水の泡になる	はかなく消え去っていく。努力などがむだになること。
	耳が痛い	自分の弱点をいわれ、聞くことがつらい。
慣用句 7	耳が早い	うわさなどを、早くから聞いて知っている。
	耳にたこができる	同じことをくり返し聞かされる。
	虫がいい	自分の都合ばかりを考えて、他人のことはまったく考えないこと。自分勝手。
	目が肥える	良いものを見て、物の価値を見分ける力がつく。
	目に余る	行動などの程度がひどすぎて、だまって見ていられない。
	目を三角にする	こわい目つきをする。
	やぶから棒	やぶから棒を突き出すように、物事が突然であるさま。
	指をくわえる	見ているだけで、手出しができないでいる。